

# 宿縁

七月号

千葉県市川市国府台五丁目二十六番三十九号  
浄土真宗  
本願寺派

## 中原寺

TEL 〇四七―三七二一―〇二九二  
FAX 〇四七―三七二一―〇二六一

始めも終わりも

「おめでとう」と

いえる人生とは



月に一度書き換える山門前の掲示版は道行く人の目に留まっているようです。

「いつも読ませてもらっています」、「毎月の言葉を楽しみにしています」といった声かけをいただくとうれしくなります。今月「七月」はこんな言葉です。

あなたの人生は「おめでとう」で始まり、「愁傷さま」で終わるしかないのですか？

千葉市川市国府台五丁目二十六番三十九号

浄土真宗  
本願寺派

## 中原寺

TEL 〇四七―三七二一―〇二九二  
FAX 〇四七―三七二一―〇二六一

大方はこの世に生まれ出たときは「おめでとう」と祝福されます。しかし亡くなるときは「愁傷さま」が多いような気がします。事実誰かが亡くなった報せを貰ったとき、あなたは先方に「この度は愁傷さまです」と声をかけているのではありませんか。考えたら「愁傷さま」には違和感を覚えます。「愁傷さま」とは、「相手の不幸に際し、その縁者に同情して言う挨拶の言葉」です。

そうであるなら人間は生まれた時から不幸に向かって生きていくことになりませんか。まさに不幸で終結するのならこの世に生まれたことが何故におめでたいのでしょうか。

こうした人生観は、私たちが生に執着し死を避け忌み嫌うという狭い観念に閉ざされていくことから起こります。仏教はそれらを妄念妄想といい、その世界からの解放、目覚めを与えるものです。

ですから掲示版の言葉は『この世の誕生は苦しみ』で始まり、「おめでとう」で終わる』というのが正しいのです。

なぜなら人間界の誕生とは生老病死の苦界から抜け出られない、煩惱に満ちた世界のスタートと言えるからです。

ブツダ釈尊にはラーフラ(漢訳名で羅睺羅)という一子がおりました。ラーフラとは障碍という意味の説があるようで、いろいろ

る解釈がされています。ラーフラは釈尊出家直前に生まれたから出家の妨げになるところから、名づけられたというのなるほどと思わされます。

父親釈尊があらゆる人生のしがらみから抜け出て出家得道を決意された境遇からすれば、吾が子の誕生は妨げ(障碍)であったことは頷かれます。

私見を申せば、誕生の瞬間から人はさまざまな障碍ある人生のスタートといえます。

しかしラーフラはその後出家して釈迦十大弟子の一人になったことからすると、仏道こそあらゆる人生のしがらみの苦悩から解放されて人生誕生の真の意味に目覚めることを教えてくれたと思うべきです。

もう一つ仏典(涅槃経や観無量寿経)に出てくる古代インドマガダ国の王アジャセ(漢訳名阿闍世)の名の由来です。アジャセとは「未生怨」という。生まれざる前にすでに怨みを懐くという意味といわれます。出生の秘密を、釈尊に反逆したデーヴァダッタ(提婆達多)に聞かされ、唆されて父王を殺し王位につき母をも殺害しようとした人物です。

このアジャセも母のイダイケも(韋提希)自ら犯した罪におののき、苦悶の末に釈尊の説く阿弥陀仏の本願によって救われたと記述されています。

これらのことは私たちに何を示唆しているのでしょうか。

それは人間の煩惱によって繰り広げられる人生の苦悩は、如来の大悲のはたらきによってのみ解決されるのだということ。

### 生死(しょうじ)の苦海ほとりなし

ひさしくしづめるわれらをば  
弥陀弘誓(ぐぜい)のふねのみぞ  
のせてかならずわたしける (高僧和讃)

仏教徒としての誓いを表す「三帰依文(さんきえもん)」の冒頭には「人身受け難し、今すでに受く。仏法聞き難し、今すでに聞く。この身今生に向つて度せずんば、さらにいづれの生に向つてかこの身を度せん。大衆もるともに至心に三宝(仏・法・僧伽)に帰依したてまつるべし。」とあります。

私たちのこの娑婆世界は、起こす煩惱の連鎖からすべてが苦に繋がっていきます。そこから抜け出すには真理(仏)からの声を聞くしかありません。聞くとは、聞こうという心がなければ聞こえません。それには自分という鎧を脱ぐことです。鎧とはこれをつけていれば大丈夫だろうと思っていた財産、地位、名誉、健康といったものへの関心の眼を逸らしてモノの道理を知ることです。それを仏教では発菩提心(ほつぽだいしん)といいます。禅の山田無文(むもん)老師は、自分のことを忘れて人様のために尽くすことだと説かれました。

ある学生が質問をしました。

「本当の自分とは何ですか」と。無文師は「きみは今日から、自分のことを勘定に入れない何か一所懸命人のために尽くしてご覧なさい。そして心から良かったと思える自分がいたら、それが本当の自分ですよ」と。菩提心に生きるとはどういうことかを実にい得て妙です。これこそがこの世を生き切った菩提心の人として「おめでとう」といえるのではないのでしょうか。

【寺灯雑記】

○千葉組仏婦(みのり会)研修会に参加

6/28

- ・場所―千葉教育会館
- ・講師―中村仁一師(京都、老人ホーム「同和園」付属診療所所長)
- ・参加者―中原寺より18名

みのり会の1日研修会に参加させて頂きました。  
 中村仁一先生の「最後まで人生の主人公たるゆえに」く仏の教えを日常の生活に生かすの講題でのお話は、私の日頃の「死」についての思いに答えて下さるものでした。

生来、人間は穏やかに死ねるしくみが備わっていて老衰死が自然な死であり、食べないから死ぬのではなく、死に時が来たから食べないのだということ。自力で食べられなくなれば寿命。あらゆる生き物に共通の最後の姿であること、老いや病にとらわれずに折り合いをつけて生きることが大切であると。いつも「死」を視野に入れて生きること。老い衰えていく姿があるがまに見せることで後続者に安心を与えるなど昔の暮らしではあたりまえのことでした。

私は6年生の時に祖父が亡くなりました。数日臥せった後、食事を受けつけなくなり半分眠っている様な時が続き、そのまま亡くなりました。後に眠っている様な顔や手に触れて、その普通でない冷たさに初めて「死」を実感いたしました。

「死」を厳粛なごとと子供の頃から学んでほしいと思います。他人に対して「死ね」なんて軽々しく言えないし、自死もなくなるこ

とでしよう。

この度のお話を伺うことができ本当に良かったと思います。出席できなかった方々のためにも是非お寺で中村先生のお話を伺う機会をつくって頂けますようお願い申し上げます。

(婦人会 和田文子記)

○千葉組門徒推進員の集いに参加

7/9

千葉組内寺院に所属する門徒推進員の連絡協議会が築地本願寺で行われ、25名ほどが参集、当寺から多田羅さんと山奥さんの2名が出席しました。

法話は柏倉学法師から「三帰依文」の受け止め方について、また話題は今秋10月から始まる千葉組第8期門徒推進員養成連続研修会の内容、進行の件などが話し合われ、また懇親も深まりました。

○聞法会館にエレクトーンを寄贈

寄進者 平 房雄様

○九州豪雨災害に義援金を送る

このたびの福岡、大分両県を襲った九州北部豪雨は死者・行方不明者などを含め多くの災害をもたらしています。

そこで緊急に当寺の「ふれあい募金」から10万円を義援金として本山本願寺の「たすけあい募金」に送金しました。

ご支援くださる方は「中原寺ふれあい募金」郵便振替口座00110-6-740059宛てご支援ください。

常時受け付けています。

【ご案内】

☆第26回門信徒ファミリーパーティー

日時：七月三十日(日) 二時開始

・第一部(会場：聞法会館)

演芸会Ⅱ①船橋ばか面おどり、玉すだれ

(ばか面おどり愛好会)

船橋の伝統的な郷土芸能で、太

鼓や鳴物に合わせおおかめひよ

つとこなどのお面をかぶり可

笑しく表現する踊りです。

②紙切り

(落語協会・林家楽一さん)

会場からの注文で見事な紙切

り芸を披露します。

・第二部(会場：駐車場)

各種模擬店、盆踊り、ゲーム、抽選会など。

・参加費：1,000円(小学生までは

無料)アルコール類は有料。

恒例のお寺の夏祭り「あえてよかつたね」

今年も楽しい企画で皆さまをお待ちしてい

ます。ご家族、友人をお誘いになつてお気軽

な服装でご参加ください。

☆親鸞聖人茨城ご旧跡参拝旅行募集!

日時：十月二十四日～二十五日

(一泊二日)

参加費：20,000円

募集人数：40名 (9月末日締切)

旅程：(大型観光バス使用)

市川駅前～上宮寺(明法房弁円開基)～

国宝白水阿弥陀堂～磯原温泉宿泊

無量寿寺(順信房開基)～めんたいパー

ク大洗～市川駅前

楽しい親睦旅行に是非ご参加ください。

☆孟蘭盆会法要(全戦没者追悼法要併修)

日時：八月十一日(山の日祝日)

午前十時より

・仏説阿弥陀経

・讚仏歌(みほとけにいだかれて)

・法話 渡辺浄道師(浄心寺住職)

日頃私の都合を最優先に生活してしまいがちな私たちが、亡き方々を偲びながら仏教に出遇う大切な仏事です。

心静かなひとときを過ごしましょう。

【法座・行事の案内】

○常例法座

七月十七日(海の日祝日) 一時

講師 住職

○門信徒会役員会

七月十七日(祝日) 三時半

○高僧和讃に学ぶ

七月二十二日(土) 三時

講師 前任職

(源空光明はなたしめより八首を味わう)

○いのちの居場所を考える会

八月十七日(木) 十時半

「場の思想」で知られる清水博先生を

囲んでの座談会

○第22回夏休み子ども合宿

八月十九日(土)～二十日(日) 一泊二日

(定員を超えたので募集は終わりました。)

【今月の掲示板のことば】

あなたの人生は

「おめでとう」で始まり

「ご愁傷さま」で終わる

しかないのですか?